

脱核とアジア平和のための韓国原発地域韓日市民ツアー 記者会見／報告会のお知らせ

NNAA-J*(No Nukes Asia Actions Japan)

下記の要領で記者会見と報告会を開催しますので、ご参集いただければ幸いです。

1. 日時
7月9日(火) 13:30~15:30
2. 場所
参議院会館地下 B-104
3. プログラム
13:30~14:10 記者会見 休憩 14:15~15:30 報告会

【記者向けブリーフィング】

1. ツアーの目的

韓国と日本の各地域で脱核(脱原発)運動を展開してきた住民、組織、市民団体間の交流を通じて、原発と脱核運動の経験と情報を共有し、信頼と連帯に基づいた脱核アジア市民共同行動をアジア全体に広げる。そのための第一歩。

2. 期間: 2013年6月19日-24日(5泊6日)

3. 訪問地

水原(スウォン) - 霊光(ヨンガン) - 密陽(ミリャン) / 釜山(プサン)・古里(コリ) - 慶州(キョンジュ)・月城(ウォルソン) - 盈徳(ヨンドク) - 蔚珍(ウルチン) / 三陟(サムチョク) - ソウル
(添付:「韓国の原発概要」参照)

4. 参加者

日本側: 21名(玄海原発訴訟の会原告代表、東北ヘルプ事務局、いわき市保育園園長、各市民グループ代表)
韓国側: 延べ約50名(韓国FoE代表、核キ連代表、各地脱核運動組織代表、生協代表他)

5. 成果

①韓国市民団体との交流

- ・今回のツアーは昨年6月に日本で行った「下北『核』半島地域スタディ・ツアー」で培われた韓国と日本の脱核市民運動の連携を更に強化する意図で韓国の原発を巡り、各地の脱核市民運動の方々と交流し、更にそのスクラムが強化された。韓国では日本の福島事故の状況やその後の動き、市民団体の活動についての情報が不足しており、その提供が日本側から行われた。そして放射線量の計測は自前で定期的に実施することが重要とのこちら側の提案に、韓国大手大邱生協といわき計測所の間で計測データの相互交換することとなった。逆に韓国の民主化闘争で勝ち得た「市民民主主義」の強い意志を日本側が受け、学ぶこと大であった。また、新規原発建設に伴う76.5万ボルトの高圧送電線下の集落の電磁波健康被害の恐れが現在最大の問題となっているとの事が明らかになった。
- ・韓国の原発立地4カ所の内、3カ所は日本海(韓国名:東海)に面しており、一旦過酷事故が起これば距離の近さから日本にも大きな影響がある。そしてその逆もまた真なりであり、日本の「玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会」の裁判の原告に韓国側の市民も加わっており、裁判の会の代表、事務局長との交流も図られた。
- ・アジア最大の環境保護団体韓国FoEの代表、金恵貞(キム・ヘジョン)さん、「核のない社会のためのキリスト者連合」代表、揚在成(ヤン・ジェソン)との協議も行われ、今後も緊密に連携し、市民の国際連帯運動を具体化していくことで合意した。
- ・この連携をより強化する意味で、この10月には再び日本の九州、四国周辺を巡り、その原発立地地域の脱核市民運動と韓国の運動団体との交流を深めることが決定された。

②原発モンスター裁判への原告参加

- ・このツアーの最後に、NNAA-Jでは今回の福島原発事故について、原発メーカーが福島事故の原因究明もされぬまま全世界へ原発輸出の攻勢を掛けていることに抗議しその動きを止めるための原発メーカーを訴える「モンスター裁判」(添付資料参照)をこの11月にはじめることを反原発の全国組織「核のない社会のための共同行動」及び反原発を訴え協力要請をしたところ、組織をあげて原告に加わる方向での検討が約束された。

No Nukes Asia Actions (NNAA) とは？

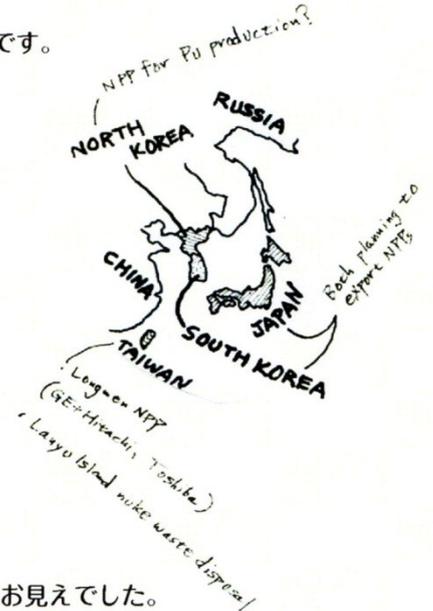
ノーニュークスアジアアクションズ

一言で言えば：

世界的な市民の連帯によって、核や原子力のない世界を目指す市民グループです。

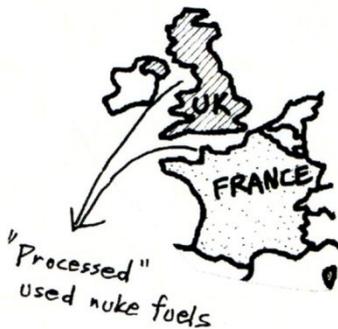
問題意識

このページにいくつか、関連諸国のごく一部を概略で並べてみました。
 このとおり、原発問題は1国だけの問題ではなく、常に地球全体を巻き込む問題です。
 フクシマからの放射性汚染水が、太平洋のほぼ全体を汚してしまったように。
 なので、「核・原子力 (Nukes) のない世界」を目指すには、
 市民の世界的な連帯が不可欠だ・・・」
 そこで、No Nukes Asia Actions が結成されたのです。



結成

2012年夏から準備を重ね、同年11月10日に東京の日本基督教団 信濃町教会で、結成を宣言しました。
 一部の新聞やネットメディアなどにも、取り上げられました。
 すでにこの結成記者会見の場には、モンゴル、韓国、台湾、カナダなどからの方々もお見えてした。



今までの活動

2012年夏 結成の準備のため、会議や日本語と英語それぞれのウェブサイト設置など。
 10月 NNAAのチェスルク代表が台湾を訪問。台湾の環境団体や反核団体などと会合。
 11月 上記の記者会見で、結成を発表。
 12月 IAEAが福島で会議を開催したことに、抗議を表明

2013年2月 武藤一羊さんを講師に招き、講演会 (川崎にて)
 3月 韓国のイデス牧師と大間原発敷地内の「あさこハウス」の小笠原厚子さんを招き、講演会。(川崎にて)

そして5月現在、裏面にある「原発モンスター裁判」の原告団を組織中！

その他計画中の活動

- ・上記の「モンスター裁判」にともなう、各種のイベントなど
- ・小規模で連続的なセミナーなど
- ・台湾等南部のラング島にある放射性廃棄物埋設場の放射線モニタリングに関する調査などへの協力
- ・モンゴルへの核廃棄物埋設への反対運動
- ・日本や韓国からの原発輸出への反対運動
- ・さらに、世界各地の反核団体との連携・・・ などなど



- ・ US-Japan nuke connections
- GE-Hitachi
- Westinghouse is Toshiba's subsidiary.

連絡先は、このウラに！

韓国の原発概要

1. 原発の立地地点
 霊光(ヨングアン)、古里(コリ)、月城(ウォルソン)、蔚珍(ウルチン)
2. 原発数
 23基
3. タイプ
 加圧水型軽水炉 19基、 CANDU型重水炉 4基
4. 位置
 下図参照
5. 原子力電源比率 約35%(石炭:43%、天然ガス:18%)・・・2008年



【課題】

- ・昨年、霊光原発、古里原発で試験成績書を偽装した部品が納入され多数の原発で使用され、職員が横領していたことが発覚。その他操作ミスなどで10基が停止中。
- ・しかし、2030年までに原発を40基とし、原子力電源比率を50%以上にする計画。
- ・原発輸出を計画中(原発メーカー:斗山重工業・・・斗山財閥系)。

「原発モンスター訴訟」

原告団 弁護士の見解 Vol. 1



みなさま、

私ども No Nukes Asia Actions-Japan (NNAA) では、2013 年 11 月を目標に、福島第一の原子炉メーカー3 社を相手取った訴訟を、東京地裁で起こす計画です。それが、「原発モンスター訴訟」です。

その概要は別のパンフレットまたは NNAA のウェブサイト(下記)をご覧ください。法律理論的には、どのような論点があるのでしょうか？それを、私ども原告団の弁護士である島 昭宏 弁護士に、何度かにわたって解説していただきます。まず、第1回として、根本的な問題について。

なお、法律理論ですので、島 弁護士による文章を無編集で以下に掲載しております。

↑ 島 弁護士

アーライツ法律事務所さんのウェブサイトにある写真を眺みながら、NNAA のひで が描きました。もうちょっとかっこよく描くべきだったろうか？



2011 年 3 月 11 日に発生した福島第 1 原発の水素爆発を伴う巨大事故は、かつて我々が経験したことがない規模で放射線被害を拡大させ、世界中の人々を震撼させた。そして現在、東京電力に対し数多くの損害賠償請求訴訟が提起されている。

しかし、自動車の排気ガスによる喘息被害に対して、運転手や所有者以上にメーカーが賠償責任を問われるように、原発事故被害については、電力会社だけではなく、原子炉メーカーも当然に責任を追及されるべきである。ところが、メーカーはこれまでほとんど非難の対象とさえされていない。その原因は、原子力損害賠償法が電力会社のみ責任を集中させる制度を採用しているためだ。

しかも、原子炉メーカーは、これをいいことに、今では海外への輸出によってさらなる利益拡大を図っている。責任集中制度はまさに原子力産業保護を優先する不合理な構造を作り出しているのである。ここには、いかなる正義も存在しない。

我々はこのように極めて不合理な原子力産業保護構造の修正を迫るために、本訴訟を提起することとした。



No Nukes Asia Actions-Japan (NNAA) では、今後も 島 弁護士による見解を紹介してまいります。

島 昭宏 (しま あきひろ) 弁護士は、東京都中央区に「アーライツ法律事務所」を営んでいらっしゃいます。同時に、日本のパンク ロック シーンでは伝説的なバンド、The Jumps のリード ボーカリストでもいらっしゃいます。確かに、上の文章もどこか「社会派パンクロック」のノリがありませんか？ 次回をお楽しみに！ (島弁護士による本文以外は、NNAA の ひで が書きました)



このフライヤーの発行者： No Nukes Asia Actions-Japan 事務局
〒 166-0003 杉並区高円寺南 1-18-14 高南レジデンス 102
[FAX] +81-3-6765-3977 [eメール] ermite@jcom.home.ne.jp
[日本語ウェブサイト] <http://ermite.just-size.net/nnaa/>
[英語ウェブサイト] <http://ermite.just-size.net/nucleare/>
[Facebook グループ] <http://www.facebook.com/groups/nonukesasia/>